

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和6年度においては、次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、新大学キャンパスのエントランス部分の木質化を実施しました。
- また、区役所や本庁舎といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、椅子、屋外ウッドデッキ等の整備を実施しました。

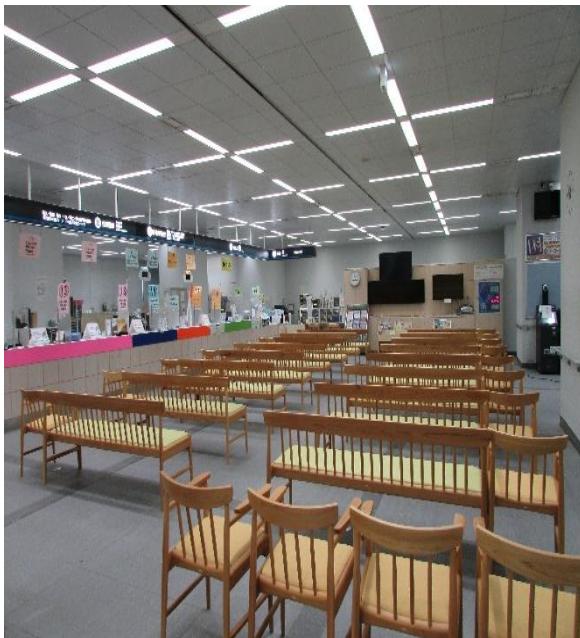
## □ 事業内容

### 国産木材を活用した区役所庁舎整備事業（施設名 淀川区役所）

- 区役所庁舎内装等を木質化することにより、国産木材の魅力を発信するとともに快適で安らぎの感じられる空間づくりを創出した。

【事業費】10,915千円（うち譲与税10,915千円）

【実績】木製背付きベンチ、木製肘付き椅子、木製授乳ブース



## □ 事業スキーム

- 制限付一般競争入札

## □ 工夫・留意した点

- 森林環境保全や環境保護への関心を高めるため、区民の利用頻度の高い箇所を木質化することにより、多くの区民に直接木材製品に触れてもらうことで、国産木材の良さの再認識を図った。
- 区役所子育て情報コーナーへの木製授乳ブースの設置、区役所1階待合スペース椅子等の家具什器を国産木材製品へ更新することで、木材特有のあたたかみや安らぎを感じられる空間づくりを行った。

## □ 基礎データ

①令和6年度譲与額：337,851千円	②私有林人工林面積（※1）：0.00ha
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より